1 計算

1.1 二次式の展開

- 展開の公式 -

- $(x+a)^2 =$
- $\bullet (x-a)^2 =$
- $\bullet (x+a)(x-a) =$
- $\bullet (x+a)(x+b) =$

- 発展 -

- $\bullet (ax+b)^2 =$
- $\bullet (ax b)^2 =$
- $\bullet (ax+b)(ax-b) =$
- $\bullet (ax+b)(ax+c) =$

1.2 二次式の因数分解

- 因数分解の公式・

- $x^2 + ax =$
- $x^2 + 2ax + a^2 =$
- $\bullet \ x^2 2ax + a^2 =$
- $x^2 a^2 =$
- $\bullet \ x^2 + (a+b)x + ab =$

発展

- $\bullet \ a^2x^2 + 2abx + b^2 =$
- $\bullet a^2x^2 2abx + b^2 =$
- $a^2x^2 b^2 =$
- $\bullet \ a^2x^2 + a(b+c)x + bc =$

1.3 平方根

- 次の平方根を答えよ -

121

• 225

45

• 144

• 256

• 8

• 169

• 0.04

• $\frac{7}{25}$

• 196

18

• 0.06

次を計算しなさい -

- $\bullet \sqrt{45}$
- \bullet $-\sqrt{24}$
- $(\sqrt{3})^2$
- $(-\sqrt{4})^2$
- $\sqrt{3} \times \sqrt{15}$
- $\sqrt{21} \div \sqrt{3}$

- $12\sqrt{3} \div 2\sqrt{15}$
- $\frac{2\sqrt{12}}{\sqrt{3}}$ $2\sqrt{3} \times 5\sqrt{21}$
- $\sqrt{3} + \sqrt{2} + 4\sqrt{3}$
- $\sqrt{8} + \sqrt{18}$
- $\sqrt{24} \sqrt{54}$

1.4 二次方程式

- 解の公式 ----

$$ax^2 + bx + c = 0$$
の時

x =

次の二次方程式の解を答えろ

- $\bullet \ x(x+a) = 0$
- $(x+a)^2 = 0$
- $\bullet (x-a)^2 = 0$

- $\bullet (x+a)(x-a) = 0$
- $\bullet (x+a)(x+b) = 0$

発展 -

- $\bullet (ax+b)^2 = 0$
- $\bullet (ax+b)(ax-b) = 0$

 $\bullet (ax+b)(ax+c) = 0$

二次方程式を解くときのテクニック・

$$(x+a)^2 = b^2$$

次を解け

- $x^2 = 25$
- $x^2 = 5x$
- $x^2 10x + 24 = 0$
- $3x^2 + 24x + 45 = 0$

- $x^2 49 = 0$
- $x^2 10x + 1 = 0$
- $2x^2 5x + 2 = 0$
- $(x-2)^2 7 = 0$

2 関数

2.1 関数の一般式

一般式をかけ —

- 比例
- 反比例

- 一次関数
- 2乗に比例する関数

2.2 二乗に比例する関数

- 一般式の定数によるグラフの形の変化を説明せよ ------

- •
- •
- •

- 次を解け —

- (2,4) を通り、2 乗に比例する関数
- $y = x^2$ と y = x + 6 の交点
- $y = 3x^2$ について x が 1 から 3 まで増加する時の変化の割合
- $y = 3x^2$ について x が t+1 から t+3 まで増加する時の変化の割合
- $y = ax^2$ で x が 2 から 10 まで 増加する時変化の割合が-3 のとき a の値
- $y = -3x^2 (1 \le x \le 5)$ の y の変域
- $y = x^2(-3 \le x \le 2)$ の y の変域
- $y = ax^2(-4 \le x \le 1)$ の y の変域が $-32 \le y \le b$ だった。a, b の値

2.3 入試に使えるテクニック

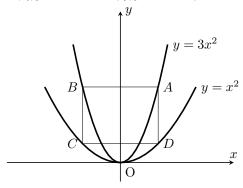
- 2点(x₁, y₁), (x₂, y₂)の中点
- 三角形の一つの頂点を通り面積を二等分
- 平行四辺形や長方形の面積を二等分

2.4 グラフの問題

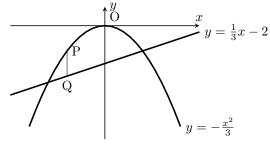
直線 y=ax+b と曲線 $y=x^2$ の交点 A,B の x 座標が -1 と 3 であるとき以下の問題に答えよ。

- (1) 直線 y = ax + b を求めよ
- (2) △*OAB* の面積を求めよ

四角形 ABCD が正方形となるような A の座標を求めよ



 $y=\frac{1}{3}x-2$ 上の点 P と $y=-\frac{x^2}{3}$ 上の点 Q について, $PQ=\frac{4}{3}$ となるような P の座標を求めなさい



x 座標がそれぞれ -2,1 であるような $y=x^2$ 上の点 A,B について以下の問いに答えよ

- (3) $\triangle PAB = 2\triangle OAB$ となるような y 軸上の点 P の座標を答えよ
- (4) $\triangle QAB = 2\triangle OAB$ となるような $y = x^2$ 上の点 Q の座標を答えよ

3 図形

3.1 相似

- 三角形の相似条件 -

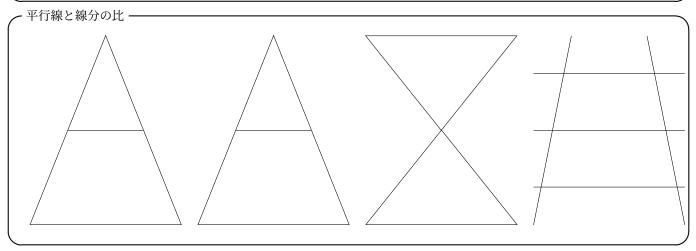
- ullet
- •

- 比の関係 -

• 相似比 m:n

• 面積比

• 体積比



- 比を合わせる ―

一直線上に A, B, C, D があるとき、AB:BD=2:3,AC:CD=3:4 である。AB:BC:CD を求めよ

3.2 円周角の定理

- 円周角の定理 —

- •
- ullet
- •

3.3 三平方の定理

- 三平方の定理 —

辺の長さがそれぞれ a,b,c の時、ただし c の長さが一番長い

- 覚えてほしい直角三角形 —

- 角の大きさが 90,60,30
- 角の大きさが 90,45,45

● 全ての辺が整数値 (二つ)